

日本経済論・小テスト【2回目】

締切は8月1日

23:59

2020年7月

担当教員・篠潤之介

- ※ 以下の設問に回答せよ。各自、回答用のワードファイルを用意し、回答は当該ワードファイルに記し、 Moodle・第11回目の「小テストはここに提出」に提出せよ。
- ※ 分量は特に指定しないが、このファイルのフォント（MSゴシック・12pt・余白「やや狭い」）でA4サイズ・3枚程度が1つの目途となりうる。
- ※ 「2.」では、必要に応じてグラフや数式を用いてよい。
- ※ **（重要！）スライドや教科書をコピペするのではなく、自分の言葉で回答せよ。**

1. 次の空欄を埋めよ

- わが国の完全失業率（季節調整済）は<（1）>パーセントである（注意：2020年7月25日時点で入手可能な最新の数値について、各自ネット等で調べたうえで、小数点第1位まで答えよ）。
2.9%
- 新型コロナウイルスの影響で、就業者には含まれるが就業時間ゼロの<（2）>が急速に増加しており、今後の雇用調整力の強まりに繋がる恐れがある。
休業者
- 名目金利を下げることに、期待インフレ率を引き上げることは、どちらも<（3）>を引き下げる効果を持つ。

2. 以下の3つから2つを選び、回答せよ。

- リーマンショック以降の失業率および労働力率の動向とその背景について整理した上で、今後の労働市場の望ましいありかたについて自由に論ぜよ
- わが国の経常収支の推移について、リーマンショック前後のパターンの違いを整理した上で、今後の経常収支の望ましいありかたについて自由に論ぜよ。
- わが国の金融政策は、物価上昇率2%を目標としている。①現在日本銀行が採用している金融政策の内容（何をしているか）と、②その政策を実行することから2%が達成される（と想定されている）までのメカニズムについて整理した上で、今後の望ましい金融政策について自由に論ぜよ。

以 上